

2章 分野別実態把握

1. 実態把握に用いる情報

分野別実態把握では、施設の分類ごとに現状を整理し、整理したデータにもとづき、特徴や課題を把握します。具体的には、施設や事業運営にかかる経費といったコストの情報、施設の築年数や利用状況、運営状況などの情報を収集し、これを用いて施設とサービスの実態を総合的に把握しました。

また、掲載しているデータについて、施設一覧は令和5年4月1日時点の基本とし、利用状況・コスト状況等については、令和4年度決算データを用いて比較分析を行っています。

2. 調査対象施設

(1) 対象施設の分類

以下の対象施設について、施設ごとに概要、利用状況、運営状況、コストの状況等を把握し、分類ごとに特徴、課題を把握しました。

※・・・施設一覧に運営状況を併せて記載

分類	把握,分析事項				調査対象施設
	利用状況	運営状況	コスト状況	二軸評価	
①公営住宅	○		○		団地
②学校教育系施設	○		○		小学校、中学校、高等学校、共同調理場、専修学校、教育センター
③市民文化系施設1：集会施設・公民館	○	○	○	○	公設公民館
④市民文化系施設2：集会施設・地域コミュニティセンター等	○	※	○	○	地域コミュニティセンター、老人憩の家 等
⑤市民文化系施設3：集会施設・その他集会施設	○	※	○		共同利用施設、多目的集会施設 等
⑥市民文化系施設4：文化施設（会館・ホール）	○	※	○	○	会館、ホール、文化センター 等
⑦社会教育系施設：図書館	○	○	○	○	図書館、図書室
⑧社会教育系施設：博物館等	○	○	○	○	美術館、博物館、記念館、資料館 等
⑨スポーツレクリエーション：スポーツ施設	○	○	○	○	体育館、運動施設、武道館、弓道場、スポーツセンター、グラウンド、プール、運動場、競技場、野球場、テニスコート 等
⑩スポーツレクリエーション：レクリエーション・観光施設	○	○	○		少年自然の家、観光交流施設、動植物園、熊本城 等
⑪産業系施設	○	○	○		くまもと森都心プラザ、勤労者福祉センター、物産館、競輪場 等
⑫子育て支援施設：幼稚園・保育園	○	○	○		幼稚園、保育園
⑬子育て支援施設：児童館	○	※	○	○	児童館
⑭子育て支援施設：児童育成クラブ	○		○		児童育成クラブ
⑮子育て支援施設：その他児童施設	○	※	○		こども文化会館
⑯保健・福祉施設：高齢者福祉施設	○	○	○	○	老人福祉センター、高齢者生きがい作業所、介護予防支援施設 等
⑰保健・福祉施設：障がい者福祉施設	○		○		障害者福祉センター-希望荘
⑱保健・福祉施設：児童福祉施設	○		○		こどもセンター
⑲保健・福祉施設：保健施設		○			総合保健福祉センター、健康センター
⑳保健・福祉施設：その他社会福祉施設	○	○	○		在宅福祉センター、夢もやい館、植木健康福祉センター、等
㉑行政系施設：庁舎等		○	○	○	市庁舎、別館、区役所、出張所、分室 等
㉒行政系施設：その他行政系施設	○		○		河川防災センター、ふれあい文化センター、計量検査所 等
㉓行政系施設：消防施設	○	※	○		市消防局庁舎、出張所、消防コミュニティセンター、機械倉庫 等
㉔供給処理施設	○		○		環境工場、クリーンセンター 等
㉕その他の施設	○	※	○		地下駐車場、地下通路、火葬場、自転車駐車場 等

3. 実態把握の共通記載事項

(1) 施設概要

施設分類ごとに、住所、延床面積、築年数など、施設の基本的な情報について、一覧表で整理しています。施設分野の特性に応じ、把握すべき事項を追加しています。なお、同じ施設内に複数の棟が設置されている併設施設については、そのなかで床面積が最大の棟の建築年度を表示します。

(2) 実態把握 ※令和4年度決算データを基に作成しています。

1) 利用状況・稼働状況

利用状況は、各施設がどの程度利用されたかの情報を示すものです。利用者数、利用件数、利用可能なコマ数に対して何コマ利用されたかの稼働状況等、施設分野の特性に適した図表で示しています。

2) 運営状況

運営状況は、施設の運営人員、運営日、運営時間等を記載しています。施設分野の特性に応じ、必要な項目を整理しています。

3) コスト状況

コスト状況は、施設ごと、あるいは施設分野ごとに大きくは事業運営にかかるコスト、施設にかかるコスト、指定管理料（指定管理施設の場合）、減価償却費相当額に分けて整理をしています。事業運営にかかるコストには、人件費（一般職員、嘱託職員を含む）、事業運営費が含まれます。

施設にかかるコストには、工事請負費、燃料光熱水費、委託料、使用料及び賃借料などが含まれます。

収入には、手数料収入、使用料収入、諸収入などが含まれます。

4) 評価・分析

上記の情報に基づき、整理した複数のデータを活用し、現況について評価・分析を行っています。たとえば、各施設のトータルコストと各施設の利用者数のデータから、施設別の利用者1人あたりのコストを、各施設のトータルコストと延床面積のデータから、延床面積1㎡あたりのコストを求めなどしてこれらを比較しています。

さらに、コスト、面積、利用者数、築年数等多くのデータを組合せて二軸の指標で散布図にプロットし、特徴や課題の把握に用いています。

(3) 総合管理計画における施設分野別方針

総合管理計画（令和4年3月改定）に掲載している施設分野別方針を参考に記載しています。